千葉日報
CHIBA NIPPO
（千葉・Chiba）
'03. 12. -9

ISO9001、14001

聖徳学園が同時取得

松戸

松戸市岩瀬の学校法人・聖徳学園（川並弘昭理事長・学園長）は8日までに、品質マネジメントシステムの「ISO9001」、環境マネジメントシステムの「ISO14001」の両国際規格を、幼稚園から大学院までの学園全体で同時取得した。同学園によると同時取得は「教育機関では日本唯一」という。

「ISO9001」（左）と「ISO14001」

環境問題取り組む

ISOは、スイス・ジュネーブに本部を置く民間・非営利団体「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の略。製品に対する仕様や組織の管理、顧客満足の向上を目指す品質マネジメントシステム規格。「ISO14001」は、環境に与える影響を最小限に抑え、環境活動全体を管理することを目的とした環境マネジメントシステム規格。

規格を定めた「製品規格」、「試験規格」から、仕事の仕方や管理の在り方の「マネジメントシステム規格」まで広範な規格を定めている。

「ISO9001」は、製品やサービスの提供における品質

同学園では、建学の理念「和の精神」に従った女子教育、幼児教育、人間教育のほか、ごみ分別、省エネ活動など独自の環境教育に取り組んできた。これら幼稚園から大学までの一貫教育を通した教育の質の管理と環境への取り組みを体系化した「SEITOKU REALISE SYSTEM（聖徳リアライズシステム）」が国際規格に適合、今回の同時取得につながった。

取得対象となったのは、大学・大学院・短期大学・専門学校・高校・中学・小学校・幼稚園・学生寮・セミナーハウスでの教育サービスと、併設教育関連施設・研究所の運営。

川並理事長・学園長は「築き上げた建学の精神と活動が世界的に評価されたことは、学生、保護者のさらなる満足につながる」とコメントしている。